

公共牧場を介したデルマトフィルス症の発生状況調査

小林 憲一郎[†]

長野県佐久家畜保健衛生所（〒 385-0035 佐久市瀬戸中庭 1111-179）

（2023年3月13日受付・2023年10月16日受理・2024年2月16日公開）



本文はこちら
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jvma/77/2/77_e21/_article/-char/ja

要 約

デルマトフィルス症は *Dermatophilus congolensis* の感染により牛、めん羊、山羊、馬等に滲出性皮膚炎を起こす。2022年1月にA酪農場で同症が29頭中20頭発生し疫学調査で預託先のB公共牧場の関与が示唆された。そこでB公共牧場を含む管内8公共牧場で同症の発生状況を調査した。2022年6～9月に延べ898頭を調査し、B公共牧場で3頭の発症を認めた。B及びC公共牧場の上牧前と下牧時のペア血清の抗体保有状況は、B公共牧場（n=42）が入牧時21.4%、下牧時88.1%、C公共牧場（n=31）が入牧時41.9%、下牧時61.3%で両公共牧場のリスク比は1.7倍（95%信頼区間：1.1～2.8）だった。*D. congolensis* 感染リスクが高い公共牧場の利用農場は下牧牛を介した感染に注意が必要である。——キーワード：デルマトフィルス症, *Dermatophilus congolensis*, 公共牧場。

-----日獣会誌 77, e21～e26 (2024)